

# 決 算 報 告 書

## 第 7 期

自 平成29年11月 1日

至 平成30年10月31日

温泉の素.com株式会社

長野県飯田市中村1758-2

# 貸借対照表

[税込] (単位:円)

温泉の素.com株式会社

平成30年10月31日 現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
<b>【流動資産】</b>		<b>【流動負債】</b>	
(現金・預金)		買掛金	4,545,504
現金	172,507	未払法人税等	71,000
小口現金	96,212	未払消費税	957,200
J Aバンク	1,929,367	流動負債計	5,573,704
ジャパンネット銀行	8,080,500	<b>【固定負債】</b>	
けんしん	362,786	長期借入金(けんしん)	3,574,000
八十二銀行	2,052,490	長期借入金(八十二)	41,935,000
定期預金(J A)	1,000,407	長期借入金(鈴木健太郎)	14,291,400
定期積金(八十二)	3,019,302	長期借入金(鈴木詠里子)	1,100,000
現金・預金計	16,713,571	固定負債計	60,900,400
(売上債権)		<b>負債の部合計</b>	<b>66,474,104</b>
受取手形	420,960	<b>純資産の部</b>	
売掛金	16,835,508	<b>【株主資本】</b>	
売上債権計	17,256,468	資本金	20,000,000
(棚卸資産)		(利益剰余金)	
商品	8,793,719	[その他利益剰余金]	
棚卸資産計	8,793,719	繰越利益剰余金	△7,389,896
(その他流動資産)		利益剰余金計	△7,389,896
抗菌美装剤	36,113	株主資本計	12,610,104
未収入金	129,449	<b>純資産の部合計</b>	<b>12,610,104</b>
その他流動資産計	165,562		
流動資産合計	42,929,320		
<b>【固定資産】</b>			
(有形固定資産)			
建物	6,216,893		
機械及び装置	25,311,541		
車両運搬具	1,345,969		
工具器具備品	1,690,401		
有形固定資産計	34,564,804		
(無形固定資産)			
ソフトウェア	749,584		
無形固定資産計	749,584		
(投資その他の資産)			
敷金	340,500		
長期貸付金	500,000		
投資その他の資産計	840,500		
固定資産合計	36,154,888		
<b>資産の部合計</b>	<b>79,084,208</b>	<b>負債・純資産の部合計</b>	<b>79,084,208</b>

# 損 益 計 算 書

[税込] (単位：円)

温泉の素.com株式会社

自 平成29年11月 1日 至 平成30年10月31日

<b>【売上高】</b>		
温泉の素売上高	131,932,761	
化粧品売上高	4,517,950	
売上値引高	<u>△5</u>	
売上高 計		136,450,706
<b>【売上原価】</b>		
期首商品棚卸高	<u>7,169,338</u>	
期首商品・製品棚卸高	7,169,338	
温泉の素仕入高	38,972,661	
化粧品仕入高	1,168,204	
外注費	49,976	
仕入値引高	<u>△155,475</u>	
当期商品仕入高	<u>40,035,366</u>	
合 計	47,204,704	
期末商品棚卸高	<u>△8,793,719</u>	
期末商品・製品棚卸高	<u>△8,793,719</u>	
売上原価 計		<u>38,410,985</u>
売上総利益		98,039,721
<b>【販売費一般管理費】</b>		
(人件費)		
人件費 計	54,173,374	
(その他経費)		
その他経費 計	<u>43,832,516</u>	
販売費・一般管理費計	<u>98,005,890</u>	
営業利益		33,831
<b>【営業外収益】</b>		
受取 利息	336	
受取配当金	10	
売電 収入	1,438,904	
雑 収 入	<u>555,809</u>	
営業外収益 計	1,995,059	
<b>【営業外費用】</b>		
支払 利息	<u>472,581</u>	
営業外費用 計	<u>472,581</u>	
経常利益		1,556,309
<b>【特別利益】</b>		
特別利益 計	0	
<b>【特別損失】</b>		
特別損失 計	<u>0</u>	
税引前当期純利益(損失)		1,556,309
法人税、住民税及び事業税		<u>71,000</u>
当期純利益 (損失)		<u><u>1,485,309</u></u>

# 販売費及び一般管理費内訳書

[税込] (単位：円)

温泉の素.com株式会社

自 平成29年11月 1日 至 平成30年10月31日

(人件費)	
給料 手当	44,670,807
役員 報酬	3,600,000
雑 給	177,080
法定福利費	3,185,136
福利厚生費	2,540,351
人件費 計	54,173,374
(その他経費)	
通 信 費	626,046
荷造 運賃	2,795,338
水道光熱費	566,389
旅費交通費	3,560,453
広告宣伝費	812,663
接待交際費	247,338
会 議 費	27,080
事務用消耗品費	1,032,039
備品消耗品費	3,790,735
研究開発費	136,228
新聞図書費	127,254
研 修 費	121,612
修 繕 費	689,241
地代 家賃	8,250,966
車両燃料費	532,298
車 両 費	97,223
保 險 料	1,933,446
租税 公課	823,910
諸 会 費	87,864
支払手数料	506,367
減価償却費	16,853,473
管 理 諸費	62,208
雑 費	152,345
その他経費 計	43,832,516
販売費・一般管理費計	98,005,890

平成 30 年 12 月末日

各従業員  
お取引先の皆様へ

平成 30 年 10 月（第 7 期）決算のご報告

温泉の素.com 株式会社  
代表取締役 鈴木健太郎

平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
別紙の通り、第 7 期の決算がまとまりましたのでご報告申し上げます。

<はじめに・・・当期の主な動き>

■生産体制の強化

念願であった、人手不足の解決方法としてフィルム印刷機の取得ならびに自動充填包装機の 2 台目取得、ウエイトチェッカーを 2 台取得した。

※今までは、売上げの増加に伴い、ラベル貼りの人員の確保が必要であった。  
さらに、GW 前、お盆前、冬場の繁忙期には、過度の残業が必要であった。  
今期、上記のフィルム印刷機らの取得により、ラベルを貼る工程が削減され、社内では大きな生産体制の転換が行われた。パートスタッフが多い当社では、工程間の見直しや人員の配置転換が行われ、お盆前には安定した生産体制がとれた。

■研究室の移動、印刷室の新設

上記生産体制の強化に伴い、研究室であった場所に印刷室を新設し、研究室を 2 階に移動し面積を多くした。社内で工事を行ったが、研究室台などを新調するなど消耗品費などが発生している。

■5S の導入

これまで攻めの体制で、取引先の開拓による売上増加と製造人員確保に集中してきたが、消費税増税前に、遅らばせながら、5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）の導入をした。飯田商工会議所のお力をお借りし、講師派遣をいただき定着をさせてきた。

## ■損益計算書

【売上】売上 13,645 万円（対前年-762 万円=94.7%）

内訳：温泉の素 対前年-990 万円、化粧品 対前年+224 万円、売上げ値引き+4

主力の温泉の素については、11 月～4 月まで 6 ヶ月間の新規顧客営業を受けつけなかった。これは、前述した生産体制の転換のために、ラベルの印刷用データフィルム印刷機用に 1 件 1 件設定し直さなければならず、その設定にはイラストレーターやフォトショップを扱えるスタッフが必要であり、印刷人員とは別に、さらにデザイナーにも協力してもらったためであった。また、変換したデータは、色味など温泉施設様に確認をしなければならず、営業スタッフがこれに関わるためであった。幸いにして、温泉施設様にもご理解いただき、ほぼ無事に転換が終わった。したがって、温泉の素の売上げは微増と予測していたが、990 万円減少した。

内訳を見ると、自社直扱いの売上げの-129 万円、代理店扱いの売上げ-861 万円、合計-990 万円である。（売上げ値引き除く）

化粧品事業については、昨年手ごたえを感じ、徐々に既存温泉の素取扱い施設に PR してきたが、その効果が出始めたことが要因にある。今後も増加するであろう。

【仕入】仕入 3841 万円（対前年-954 万円=80.1%）

内訳：温泉の素 対前年-956 万円（80.3%）、化粧品対前年+48 万円（171.7%）

外注費は-88 万円（5.4%）、棚卸差異+40 万円

フィルム印刷機導入により、外注していたラベル代が減少したのが大きい。一方で、フィルム印刷機用の予備フィルムや予備インクの在庫分が増えた。

【販売費及び一般管理費】9800 万円（対前年-390 万円=96.2%）

内訳：10 万円以上の変動を見ると、広告宣伝費+14 万円、荷造運賃-41 万円、役員報酬+30 万円、給与-546 万円、退職金-115 万円、雑給+13 万円、法定福利費-60 万円、福利厚生費-94 万円、減価償却費+1062 万円、修繕費-231 万円、事務用品-17 万円、消耗品-186 万円、支払手数料-95 万円、租税公課-29 万円、保険料+19 万円、通信費+29 万円、分析研修費+10 万円、雑費-145 万円である。

フィルム印刷機の導入により人件費（給与+法定福利費）606 万円の削減が大きい。一方で減価償却費が 1062 万円増えた。人件費の削減は、解雇したわけではなく自然退職後の補充をせず配置転換で対応した。

減価償却費は、今期 1685 万円であったが、来期は 1142 万円（期首時点）である。

【営業利益】+3 万円（対前年+582 万円）

営業外収益・・・太陽光発電 143 万円

【経常利益】+155 万円（対前年+586 万円）

## 【総論】

売上げが減少したが、一方でほとんどの取引先が、社内印刷フィルムに順調に置き換わったことで、今後の生産体制ならびに利益率の向上が図れた。今後の売上げを図るための生産体制転換の一年となった。

## ■貸借対照表

【流動資産】4292万円（対前年+1326万円=144.7%）

内訳：現金1671万円（+622万円）、受取手形42万円（+42万円）、売掛金1683万円（+554万円）、商品原料879万円（+162万円）、短期貸付金0万円（-50万円）、未収入金12万円（-7万円）、関係会社勘定3万円（+3万円）である。

短期貸付金-50万円は、全く返済されないので、不良債権化している。従って、短期貸付金にふさわしくないので、長期貸付金に振り替えたものである。

売掛金や受取手形は12月末時点ですべて現金化していて不良債権はない。

【固定資産】3615万円（対前年+1315万円=157.2%）

増減内訳：建物-38万円、機械装置+1428万円、車両運搬-67万円、工具器具+99万円、一括償却-118万円、ソフト-38万円、長期貸付金+50万円である。

機械装置の増加は、フィルム印刷機らの導入による増加である。特別償却（30%）は適用していないものの、目一杯償却している。長期貸付金は短期貸付金より振り替えたものであるが、不良債権化しているので返済見込みないものと考えている。その会社が返済不能に陥った場合には、役員長期借入より返済するか、業績が良ければ貸し倒れ処理をする。

【流動負債】557万円（対前年-541万円=50.7%）

増減内訳：買掛金-124万円、短期借入（役員）-100万円、預かり金-15万円、未払消費税-301万円。

【固定負債】6090万円（対前年+2035万円=150.2%）

内訳：長期借入金4660万円（+2385万円）（うち八十二銀行4193万円、長野県信用組合357万円である。）、役員長期借入1429万円（-350万円）。

前述の設備投資のため、銀行借り入れした。役員長期借入は1000万円を増資で振り替えた後に、650万円増えた。

【株主資本】1261万円（対前年+1148万円）

役員借入金のうち、1000万円分を増資した。（H30/12/18）

## 【総論】

八十二銀行より設備投資資金を3300万円（H30/11/28付け5年）借り入れた。3月より月+58万円+利息の返済である。

毎月の返済額は30年12月時点で、八十二銀行92万円、長野県信用組合12万円=104万円である。

銀行借り入れは予定通り返済している。

## 【第8期の重点施策】

### ■売上面

#### <温泉の素分野>

温泉施設向けに営業してきたが 1100 施設ほどの取引となった。1000 施設ぐらいで頭打ちとかねてより予想していたが、このあたりで頭打ちかなと感じている。来年 10 月消費税引き上げに伴い、観光業が厳しくなるのは必至である。夏頃まで営業し増やせるだけ顧客を増やし、夏以後は静かにしていく。8 期までは売上げが立つだろうが、9 期は寂しいものになるのではないかと予想している。

#### <入浴剤分野>

7 期中にギフトショーなどに出展し、あらたな展開をしていきたいと考えていたが、人的要素が充足せず、今年はギフトショーの出展を取りやめた。8 期は出展する予定である。アニメ、アイドル業界も模索していく。

#### <化粧品の分野>

既存の温泉の素取引先を相手に少しずつ展開していく。

### ■設備投資

ラベルプリンターを 6 年使用してきた。大きな不都合はないが、たまに表面に筋がついたりするので不良が生じている。そろそろ替え時と考えている。

3 年先 5 年先を想像し、ギフトやアニメ業界、アイドル業界の入浴剤等の商品を手がけることを視野に入れると、クオリティーが高く、より鮮明なプリンターを導入する必要があると考えている。観光業が厳しくなる環境化で、売上げを落とさない分野に進出するための取り組みである。

### ■入浴剤.net との連携 (nyuuyokuzai.net)

現在、「温泉の素.com ホームページ」は抗菌美装剤に委託し更新している。同様に委託していくとともに、「入浴剤」というキーワードで検索上位にくるように努力していきたい。

今年度、雑貨量販店向けの商品に手ごたえを感じたので、雑貨としての入浴剤市場へ商品展開を試みたい。

	温泉の素.com	入浴剤.net
取り扱い品目の概要	温泉施設向け温泉の素 ・温泉分析書を基に配合 ・本物志向 ・粉末	雑貨販売店向けの入浴剤 ・四季やトレンドに合わせて展開 ・粉末 (バブルバスは液体)
ターゲット	30~70 歳の温泉好き 本物志向を求める方 効果効能を求める方	20 歳~40 歳 女性
ユーザー価格	大 840 円~1500 円 小 130 円~200 円	小 150 円~300 円
製造ロット数	大 50 個~ 小 200 個~	小 200 個~

大手入浴剤メーカーと競合しない、小ロットの分野を開拓する。

### ■ムリ、ムダ、ムラのない生産体制を目指して

5S の定着が図れたように思うので、1 月後半~9 月にかけて、次のステップに進む。ムリムダムラのない生産体制を敷いていくために、1 月より社長とパートスタッフを指名し基礎勉強から始め、定着を図る。